

浚渫土砂処分場の確保

一級河川の庄内川から年間約30万m³の土砂が名古屋港に流下しており、岸壁全面の泊地が埋没傾向にある。

飛島ふ頭北コンテナターミナル
 取扱貨物:コンテナ(自動車部品)
 コンテナ船:週5便
 NCBコンテナターミナル
 取扱貨物:コンテナ(自動車部品)
 コンテナ船:週11便
 飛島ふ頭南コンテナターミナル
 取扱貨物:コンテナ(自動車部品)
 コンテナ船:週7便 (H30.1現在)



金城ふ頭岸壁(W76~W85)

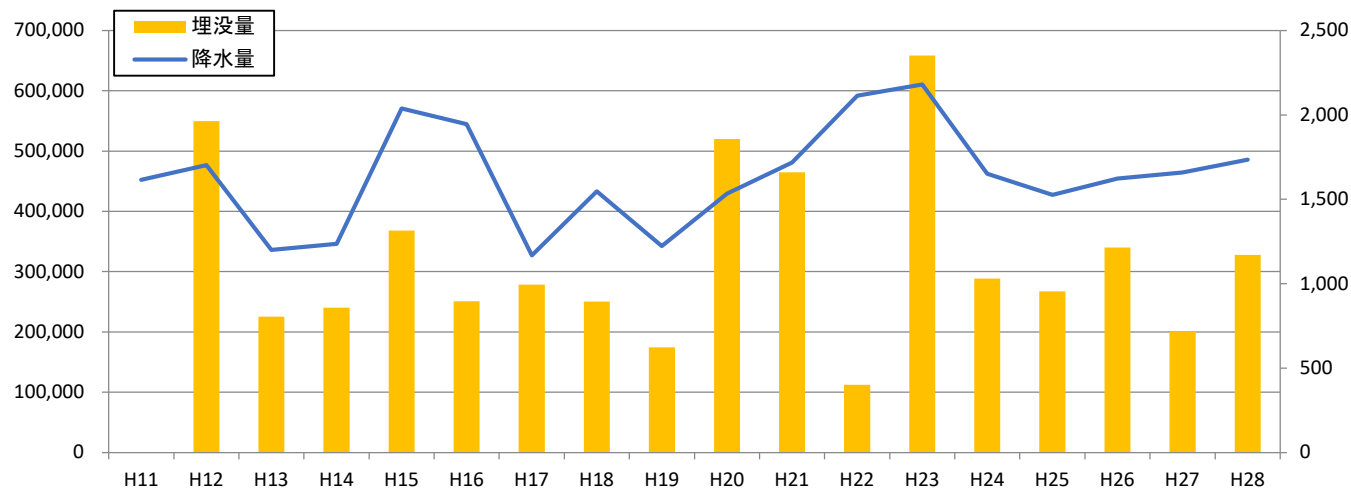
取扱貨物:完成自動車・非鉄金属等
 利用船舶:自動車専用船・一般貨物船
 利用頻度:週3便(W78)



○埋没量の推移(平成12年度～)

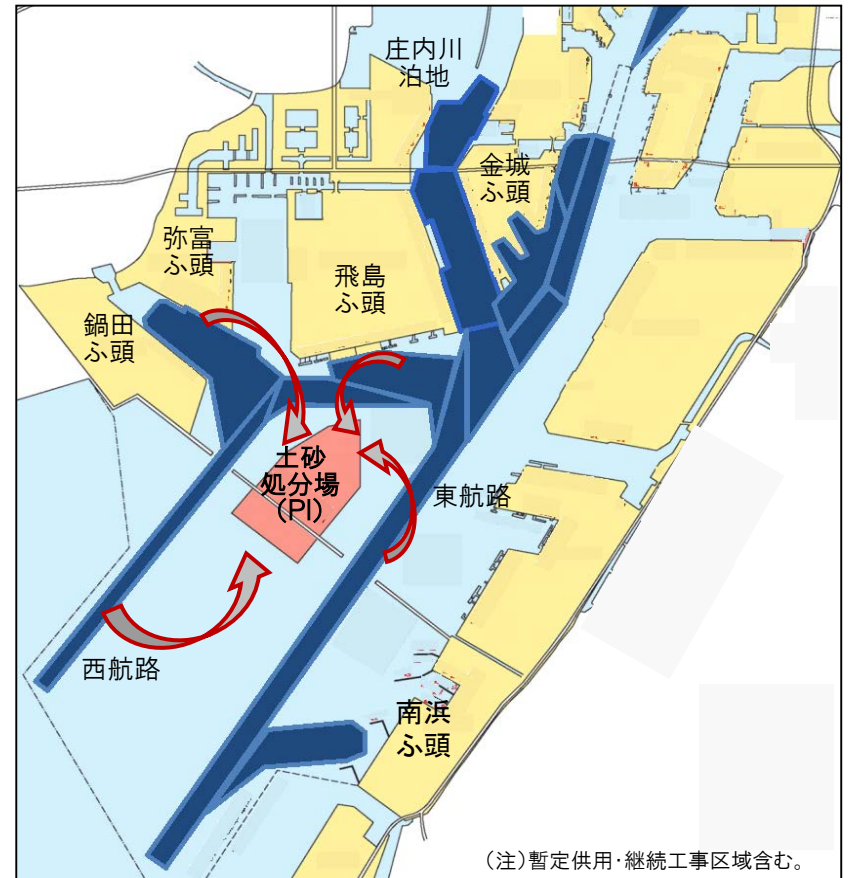
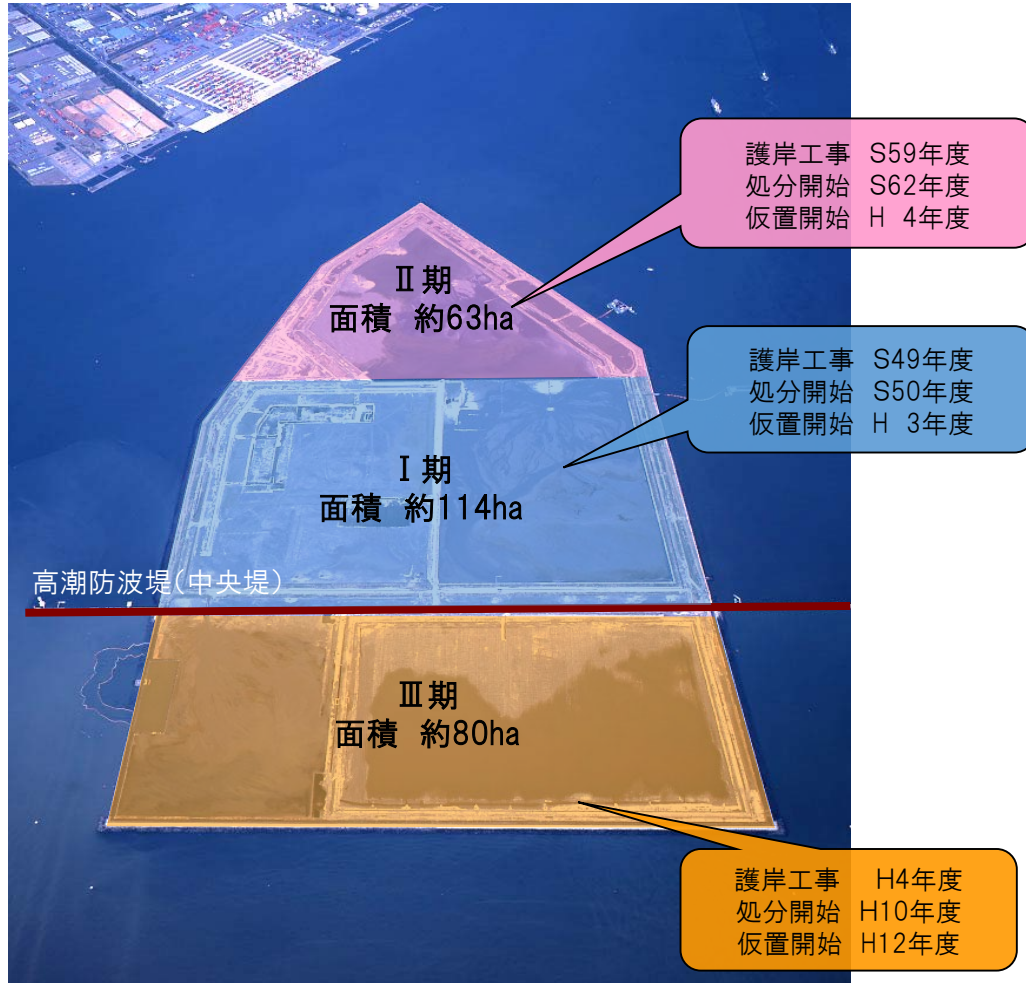
埋没量は平均30万m³であるが、豪雨があった年は埋没量が大幅に増加している。

- ・平成12年台風14号(東海豪雨) [平成12年9月]
- ・平成20年8月末豪雨
- ・平成21年台風18号[平成21年10月]
- ・平成23年台風15号[平成23年9月]



浚渫土砂処分場の確保

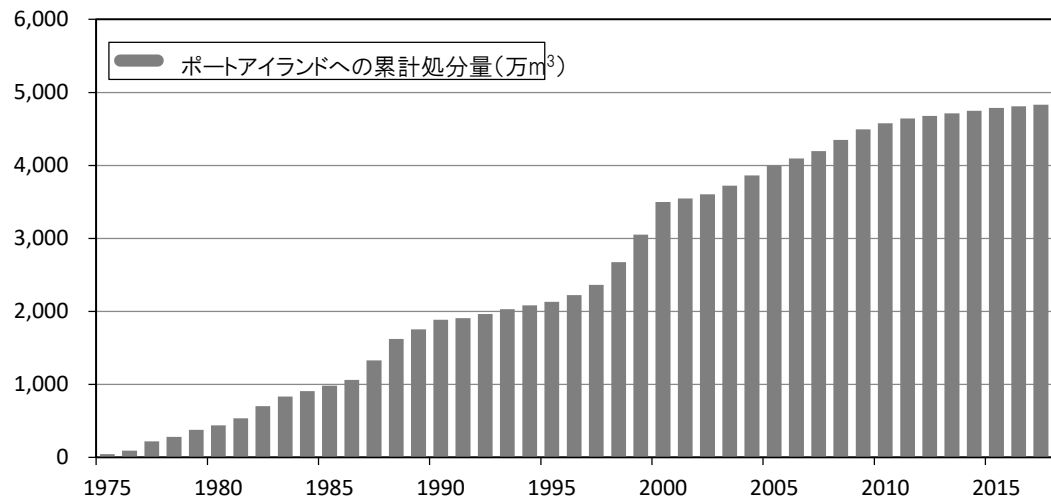
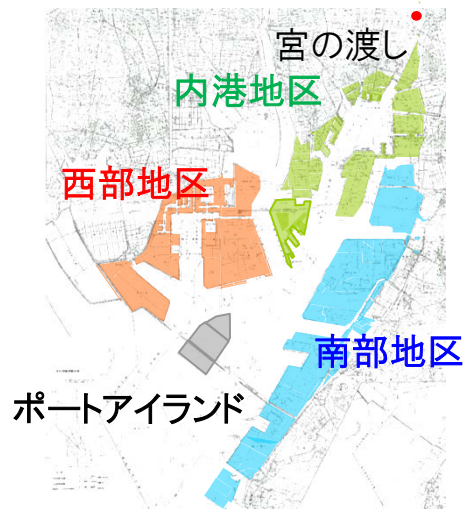
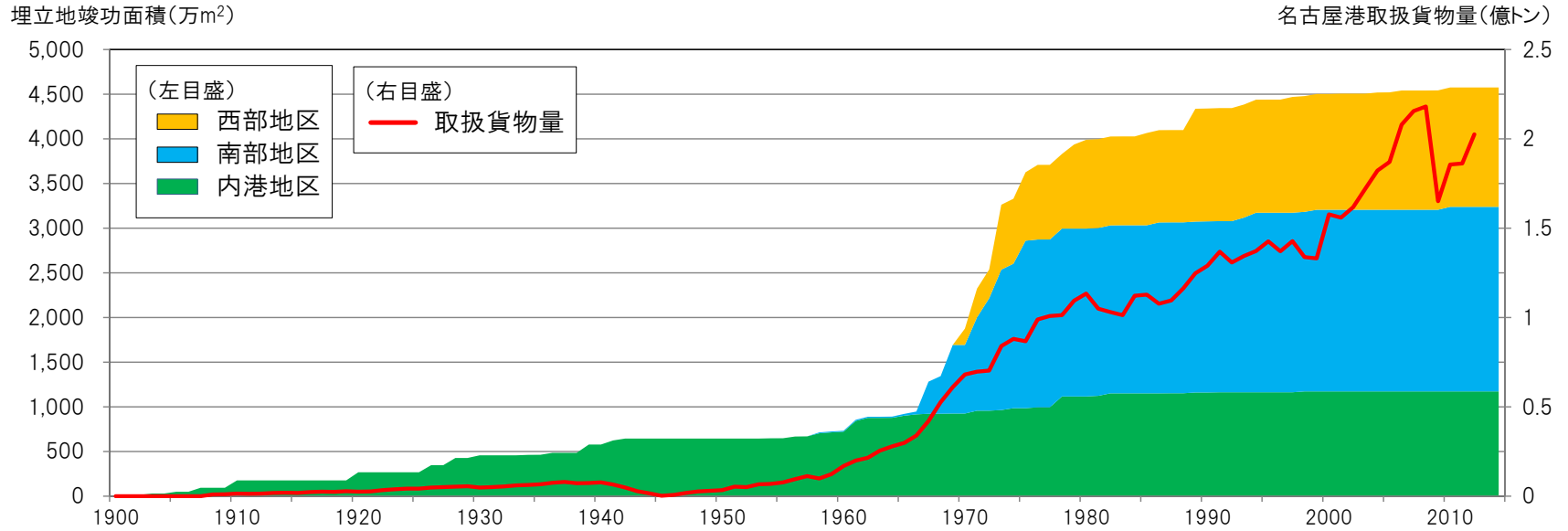
ポートアイランドでは、1975年(昭和50年)からの約40年間で約5,000万m³の浚渫土砂を受け入れている。



現有の土砂処分場への処分による浚渫工事の区域

浚渫土砂処分場の確保

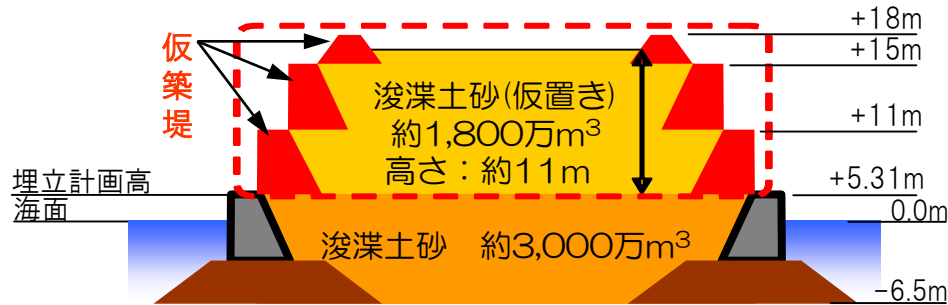
土地造成がペースダウンした1975年以降の浚渫土砂の処分を支えるポートアイランド。



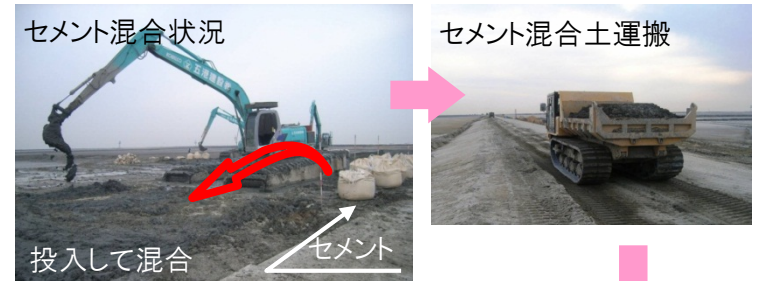
浚渫土砂処分場の確保

ポートアイランド内に仮築堤を整備して処分容量を確保しており、仮築堤による嵩上げ・仮置は、既に当初埋立計画高を10m以上超える状態。

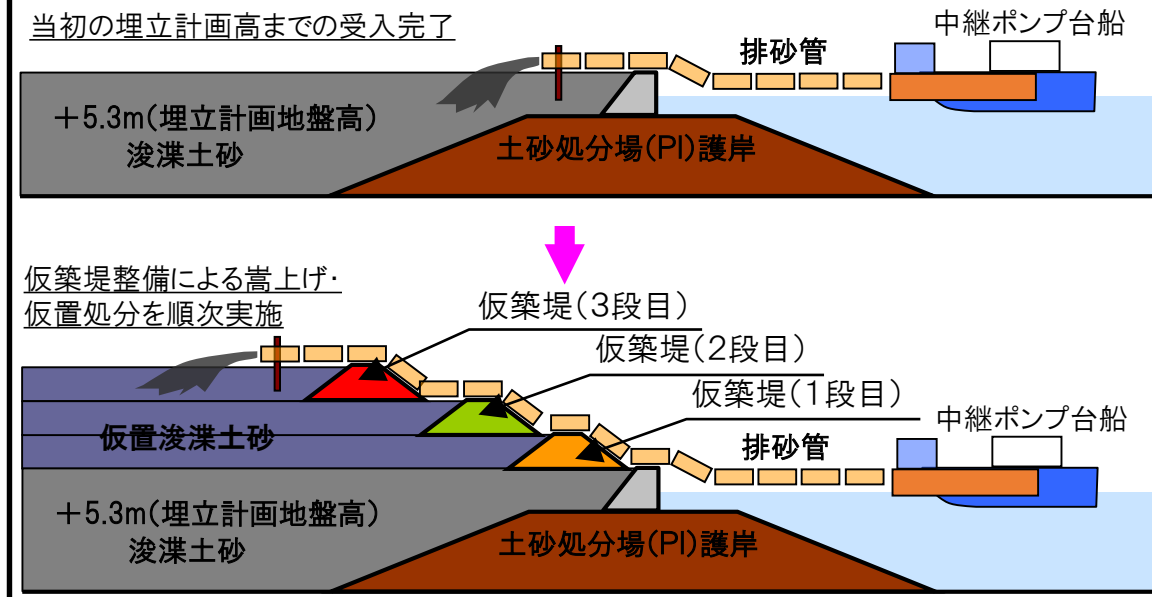
■ ポートアイランドへの土砂処分量



■ 仮築堤の整備方法



仮築堤による浚渫土砂仮置処分のイメージ



仮築堤の完成



仮築堤の全周締切り完了(土砂処分開始)

